

## 液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

西春日井広域事務組合  
管理者 様

氏名又は名称及び  
法人にあっては  
その代表者の氏名  
  
住 所

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	
当該設備の使用目的	
貯蔵設備の貯蔵能力	
工事の内容	
※ 受付欄	※ 経過欄

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自著するものとする。
  - ※印の欄は、記入しないこと。

第1号様式（第4条関係）

設備工事等の内容等

工事従業者 氏 名	氏 名	設備士免状番号	氏 名	設備士免状番号
完成検査 実施者名				
気密試験 結 果	供給管等内容積		圧 力	気密試験保持時間
	リットル		kPa	分
貯 蔵 設 備	火 気 と の 距 離	m		
	腐 食 防 止 措 置			
	転落、転倒防止措置	鎖・ロープ・その他（ ）		
	40℃以下対策			
調整器メーカー・型式				
供 給 管	高 圧 部 材 質			
	中 圧 部 材 質			
	低 圧 部 材 質	埋設管		露出管
気 化 装 置		有・無	ガス発生能力	kg/h
安 全 装 置		1		
		2		
		3		
		4		
		5		

第2号様式（第4条関係）

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満のものに限る）

<p>1 保安距離</p>	<p>①第1種保安距離（法定 m・障壁 m） 実際距離 m 保安物件の名称</p> <p>②第2種保安距離（法定 m・障壁 m） 実際距離 m 保安物件の名称</p>
<p>2 障壁</p>	<p>①障壁の構造 材料 寸法（高さ） cm（厚さ） cm</p> <p>②扉の構造 材料（厚さ） cm</p> <p>③扉の補強 等辺山形鋼（枠） mm× mm（内） mm× mm 間隔（縦） cm（横） cm</p>
<p>3 火気取扱施設との距離</p>	<p>①火気等の種類 火気等との距離 m</p> <p>②火気距離 障壁（材料） 高さ m</p>
<p>4 滞留防止</p>	<p>①貯蔵設備面積 m<sup>2</sup> 法定換気口面積 cm<sup>2</sup></p> <p>②実際の換気口面積 cm<sup>2</sup></p>
<p>5 さく、へい等の設置</p>	<p>さく、へい等の種類</p>
<p>6 警戒標</p>	<p>①掲示位置</p> <p>②表示内容</p>
<p>7 消火設備</p>	<p>①粉末消火設備</p> <p>②その他</p>
<p>8 軽量の屋根等</p>	<p>①屋根の場合 その材料</p> <p>②遮へい板の場合 その材料</p>
<p>9 転倒防止等の措置</p>	
<p>10 腐食防止措置</p>	

第3号様式（第4条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のものに限る）

1 貯槽の設備状況	
2 貯槽の適合性	
3 保安距離	<p>①第1種保安距離（法定 m・構造壁等又は埋設設置 m）</p> <p>実際距離 m 保安物件の名称</p> <p>②第2種保安距離（法定 m・構造壁等又は埋設設置 m）</p> <p>実際距離 m 保安物件の名称</p>
4 構造壁等	壁の構造 材料 寸法（高さ） cm（厚さ） cm
5 貯槽の表示	
6 腐食防止措置	
7 転倒防止等の措置	
8 プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	
9 火気等との距離	<p>①火気等との距離 m</p> <p>②火気距離が2m以内 防火壁等の設置の有無</p>